

# 市場認知に注力

## JER協 第19回定期総会 横浜支部を設立



佐藤会長

回定期総会を開催。取り扱った防食工法や技術者資格制度の市場認知活動への注力等を掲げた令和5年度事業計画案を全会一致で承認した。

総会あいさつで佐藤会長は今年度の抱負として、製品・施工・環境を捉えた総合品質で競合他

社・団体と一線を画す存在として対外認知を広めること、そのために技術

研修会や展示会事業等に一層注力していく考えを示すとともに、新たな防食・補修市場開拓に向けた製品開発への意欲も語った。

今年度は、協会認知活動と合わせ耐用年数50年対応「ジックボード」シリーズはじめ、LCC比較で圧倒的な優位性を武器に、事業者・コンサル・プラントメーカー・ゼネコンに対し技術・営業提案に注力する。

技術支援では、協会・メーカーで連携し会員企業施工物件を対象とし

た施工指導・課題解決補助などのバックアップにも引き続き注力する。

コンクリート防食技士の資格取得奨励および支援活動に注力するとともに、防食工事の品質確保・信頼性向上に向けて

同技士資格およびプライベートルाइセンス（JER専門技術者資格）有資格者配置の特記仕様・必須化等を目指していく。

新たな市場としては、橋梁や農業開水路（管路部会）分野への進出も視野に捉えているとした。協会総合力タログの改

訂作業についても進める。

また席上、地域密着活動推進の一環で、神奈川県を所管とする横浜支部を新たに設立したことも紹介した。

JERコンクリート補修協会（佐藤匡良会長）は3日、札幌市内で第19